

第 39 回土木計画学研究発表会（春大会）：2009. 6. 13～14（徳島大学）

企画論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名：まちづくりと公共故通の再生（3）	
日付： 6月 13日（土）曜日，セッション時間： 17:40 ～ 18:40	
オーガナイザー・司会者名（所属）：土井 勉（神戸国際大学）	
討議内容	<p>セッション全体：</p> <p>セッション主旨については（1）参照。</p> <p>駅前におけるまちづくりと未整備の駅前広場や都市計画道路の扱いについての考え方についての提案。</p> <p>これらは，従来型の駅前広場と広幅員都市計画道路整備では，人が中心になる駅前空間の整備が困難ではないかということで，あえて広幅員道路整備をしないことで，まちの賑わい創出の方策を検討した研究発表である。</p> <p>公共交通利用促進のための情報提供の新たな提案と IC カードの取り組みについて。</p> <p>なお，研究発表対象都市である篠山市からは金野副市長も参加され，質問に対して回答もされた。</p>
	<p>（158） 大田香織（（株）社会システム総合研究所）：寝屋川市駅前地区における賑わい創出のための住民意識調査と賑わい創出方法の検討</p> <p>・Q:ここで提案されているような賑わい創出事業が成功すると，沿線で同様の開発が進展し競合する可能性がある。その時に寝屋川市が抜き出る可能性はあるのか？</p> <p>・A:特に寝屋川市だけが競争で勝つ必要はないと思う。沿線他都市とも連携できれば良いのではないかな。</p>
	<p>（159） 一宮大祐（兵庫県）：篠山城下町における都市計画道路網見直しに関する考察</p> <p>・Q:人と車の共存方法としてヒューマンスケールを考えることは意義があると思う。そこで都市計画道路の廃止によって制限をかけてきた問題が発生しないか？</p> <p>・A:計画道路にかかっている人たちの意向を事前に的確に把握することが何よりも重要であると考えられる。</p>
	<p>（160） 辻堂史子（（株）シティプランニング）：「新田辺駅東地区」をケーススタディとした中小都市における新しい駅前</p> <p>・新たな駅前広場が整備された駅西地区と比べて，かつては中心市街地であった駅東地区は都市計画道路も駅前広場も未整備であるが，この弱点を+として考え，ヒューマンスケールのまちづくりの推進を提案。</p>
	<p>（161） 高橋恵一（香川大学）：地域 IC カードの利用実態と市場動向-ガラパゴス化する四国の IC カード</p> <p>・Q:カード発行主体は顧客囲い込みのツールだと位置づけているので，統合するにはユーザーにとっては利便性が向上するが，果たして事業者は望んでいるのか？</p> <p>・A:四国全域に商圈が拡大するので，商業者においてもメリットがあると考えている。</p> <p>・Q:四国だけを対象とするだけでなく，移動が多い岡山などとの連携は？</p> <p>・A:まずは，四国を考えている。他地域については次の課題としたい。</p>

	(発表番号) 発表者名 (所属):
--	-------------------

※発表件数に応じて適宜追加してください.